

# 白糠丘陵 右股 - 3000万年前の貝の化石

白糠丘陵（白糠山地）の山懐深く入り、「3000万年前の貝化石」を探します。巻き貝や二枚貝が見つかります。ノジュールに‘軽く包まれている’のが特徴です。

場 所	白糠町右股 <small>しらぬかちょう みぎまた</small>
実 施 日	6月14日（日曜日）
集 合 場 所	白糠町二股 国道274・392号線から右股に入るところ (地図をご覧ください)
日 程	12:30 白糠町二股集合後、採集地点に向けて <b>出発</b> 13:00 採集地点に到着 説明 化石採集開始 状況により石の採集、ノジュール割りなど 14:50 まとめ 15:00 解散



阿寒ICへ至る  
至る白糠

## 白糠町右股への道路地図

「北海道どこどこマップ」より

# 注意事項

**集合場所** - 集合場所は地図上の二股の交差点です。自家用車でお越してください。博物館の車は日タハイラックスです。林道・砂利道も通ります。

**雨天の場合** - 悪天候の場合の参加は各自で判断してください。博物館スタッフは原則的に雨天場合でも集合場所で集合時間の30分後まで待機しています。参加者がいる場合、状況に応じて実施を判断します。

**服装・靴** - 野外で動きやすい、汚れても大丈夫な服装をお願いします。怪我を防ぐために長袖長ズボンをお勧めしますが、気温の変化に対応できる服装だと良いでしょう。雨具の準備もお願いします。川を渡る際に服装が濡れる場合がありますので必要に応じて着替えの準備をお願いします。

日除けや頭部の保護のために帽子の着用をお勧めします。また、軍手や園芸用手袋などの手を保護する手袋の着用をお願いします。

靴は履きなれた動きやすい靴で問題ありませんが、化石の発掘や地層の観察のために川を渡りますので、長靴をお勧めします。ただし河川の状況によっては長靴よりも深い場所を渡る可能性もあります。足場が良くない場所もありますので、サンダルなど足が露出するものはお控えください。

**持ち物** - 化石を掘るためのハンマーやタガネ（チス）はご持参ください。ハンマーとタガネ（刃）は、カナヅチと大きなクギで代用できます。次のページの「道具類」に詳しい説明があります。化石を持ち帰る際に、包むための新聞紙やビニール袋が必要です。運びやすいリュックなどのカバンをお勧めします。虫よけスプレー等・日焼け止めなども必要に応じて準備をお願いします。記録用のペン・エンピツやノート、虫メガネ、カメラなども必要に応じて準備をお願いします。

**化石の持ち帰り** - 化石教室で採集した化石は持ち帰ることができます。ただし地層の保護のため、崖（地層）の掘りすぎには注意してください。化石教室は博物館の行事ですので、重要な化石が見つかった場合、博物館で保管する判断をする場合があります。その場合でも発見者としての記録は残りますので、ご協力をお願いします。

**飲み物・軽食** - こちらも必要に応じて飲み物や軽食をご用意ください。なお、ゴミについては各自でお持ち帰りをお願いします。

**トイレ** - 現場に簡易トイレを設置しますが、ポータブルの便器をテントの中においた簡単なものですので、移動途中にできるだけ済ませてください。

**その他** - 質問や連絡がある場合、博物館（0156-25-9100）までお願いします。

## 右股の化石

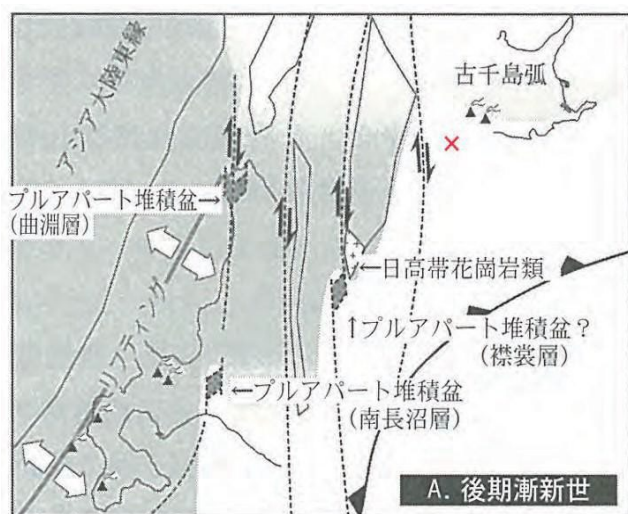
今回は、釧路炭田の石炭層ができた後の陸地（古地理図では「古千島弧」南端）のまわりの海にたまった泥岩層を掘ります。時代は、3300万年前（始新世しんせいと漸新世ぜんしんせいの境目付近）。地層は音別おんべつ層群大曲おおまがり層と呼ばれています。

世界的には気温が急に寒くなって、今見るような動物（例えばウシのような）がたくさん出現した時代です。クジラの仲間も、ヒゲクジラとハクジラに分かれて、新しい進化をはじめました。

## 古地理図（昔の陸と海）

化石を採集する大曲層がたまった時代の地理は、下の古地理図を見てください。

およそ3300万年前に、南側に開いた海に生息していた貝類が化石になって見つかります。



× 今回の採集地

日本地質学会編集「日本地方地質誌 北海道地方」より

## 現地のように



これからの雨の降り方にもよりますが、例年は長靴をはいていれば簡単にわたることができます。

車をとめる場所から数十メートルです。

## 道具類

地層から化石を取り出すには、カナヅチがいる。片方の先がとがったものがよい・・・ゴムのハンマーはダメ。

タガネ（チス）があると化石をこわさずに取り出せる（可能性が高い）。大きなクギでもよい。



タガネ

- 1 握った手を保護するツバがついたもの。
- 2・3 小型のものでよい。先は、尖っていても平でもお好みで。

カナヅチ（ハンマー）

- 4 大型のタガネ（1のような）をたたくハンマー。
- 5 普通に売っているカナヅチ。片方の先が尖っているもの。
- 6 地質調査専用ハンマー

※スケールの青い棒の長さが10cm。

## 「右股」で有効な道具

右股の化石は、ノジュールに包まれていることがおおい。とくに、フミガイ（2cm前後）は、‘軽く’包まれています。この‘皮’を取り除きたいとみなさん奮闘されます。・・・でも、持たないとうまく叩けないし、手をたたくと痛いし、・・・。

そこで活躍するのが、プライヤー（コンビネーション・プライヤー）。 →



できれば、ウォーターポンププライヤー（挟むところが40°くらい曲がっているもの、職人はアンギラとよぶ）があるといい。大きく開くので、ある程度の大きさのノジュールまで‘つかめ’ます。 →

